

## ■申酉天中殺の人との人間関係

子丑天中殺にとって、申酉天中殺というのは、西方欠落により、現実的、社会的行動力を持つ申酉天中殺と人生を共にすることなら、未来に向かっての前進力が非常に大きくなります。

しかし、精神的には非常に役立ってくれるけれど、現実的には助けにならないという関係になります。

それは、たとえば、子丑天中殺が悩み事の相談をしたり、仕事上の知恵を借りたいというようなときには、実に積極的にアドバイスしてくれますが、紹介状を書いてくれるとか、資金を出したりして呉れるとか、仕事に力を貸してくれる……といったような現実的な助けは一切してくれません。

ずいぶん親切に相談にのってくれた人が、イザとなったら“掌(てのひら)を返すように”冷淡だった……などという経験が一度や二度はお有りになったでしょう。おそらく、その相手は申酉天中殺だったはずです。

算術術では、こういう申酉天中殺と子丑天中殺の関係を「無形恩恵」と言います。

精神的には援助して呉れるけれど、現実的な役には立たない……という関係です。

だいたい、申酉天中殺というのは「自分の力でやらなければ話にならない、人に甘えるなんてとんでもない」……といった性格なんです。そういう天性が、子丑天中殺に対しては特に強く出るのです。

それでは、現実的に助けがないからいけないかというと、当然、そんなことはないわけです。

世の中には、アドバイスや知恵だけで充分……という関係はいくらでもあります。

そういう意味で、子丑天中殺にとって、最も申酉天中殺がありがたいのは「ものを教えてくれる相手」……つまり、学校の先性にしろ先輩にしろ、あるいはお稽古ごとのお師匠さんには最高の相性です。

たとえば、子供が子丑天中殺だとしましょう。そういうケースの場合、申酉天中殺の塾の教師や家庭教師に逢えば、その子供(子丑天中殺)の良い面がどんどん引き出されることになるのです。

しかし、現実には物を買って欲しい、お金を動かして欲しいという仕事上の相手、商売相手としてはどうも実りの少ない関係だと言っていいでしょう。(こういう関係ですと、あまり儲けさせてはくれません。)

上司が申酉天中殺の場合ですと、よく話を聞いてくれたり、アドバイスはしてくれますが、実際の仕事は、子丑天中殺の部下にまかせっきり。そのうえ、如何に実績を積んで結果をだしても、あまり子丑天中殺の地位や待遇面(昇級昇格など)にまで斟酌をしてくれることはないでしょう。

子丑天中殺というのは、もともと自分のことは自分でやっていける力のある人ですから、精神的に良い関係でさえあれば、うまくいく親子とか、夫婦、恋人、友人……という関係なら、申酉天中殺の相手は大変良い相性です。とくに、子丑天中殺と申酉天中殺の星をもつ配偶者の家庭というのは、未来へ向かっての前進力が非常に強くなる関係になります。二人で新しく、たくましい家庭を築く……という意味では、とても良い相性です。

子丑天中殺なら、親子、きょうだい、上役、先輩、友人、……なんてあれ、申酉天中殺には出来る限り、金銭の貸借とか、なにか具体的な援助を期待しない方がうまくいく……と言えます。

精神的な相談相手と考えて、つき合ったらとても良い相性です。

